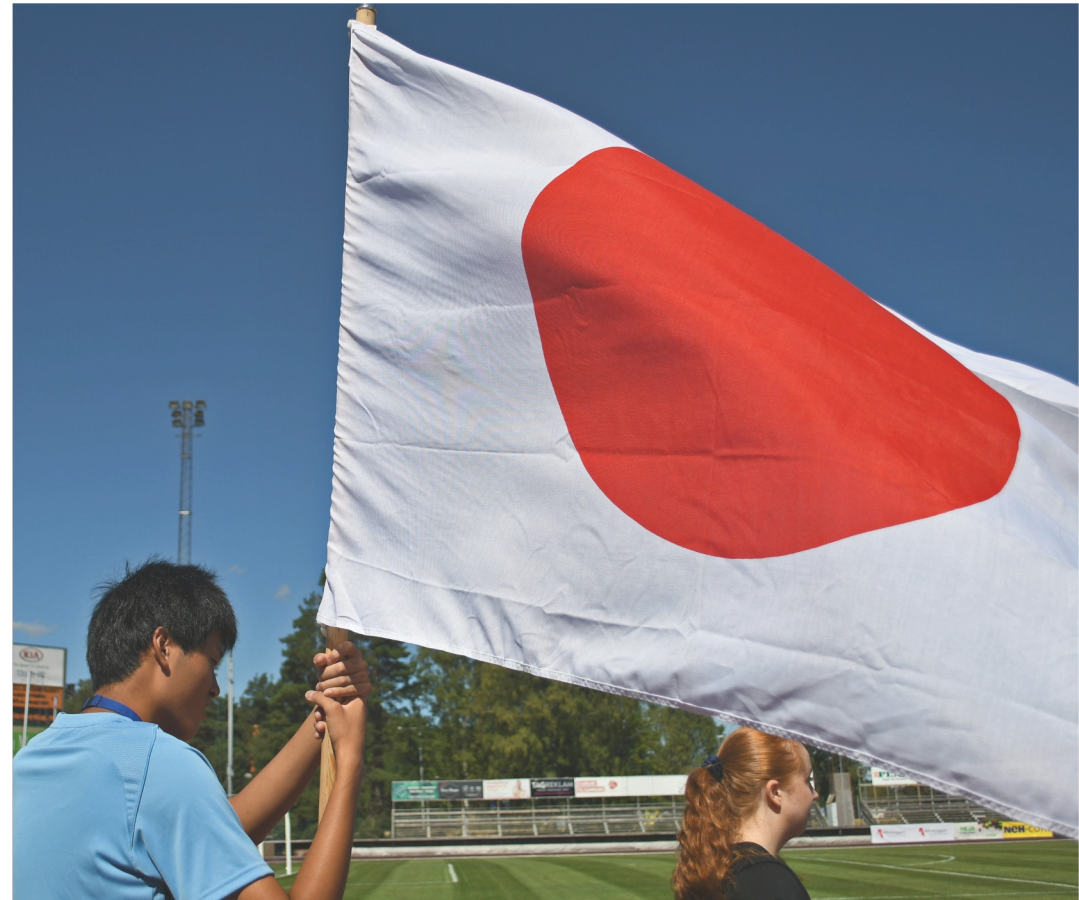


VISION MISSION ACTION >2035

© 2021-2021 JAPAN FOOTBALL FEDERATION FOR PERSONS WITH INTELLECTUAL DISABILITY

- P03 VISION ～夢の実現のために～
- P04 基本理念 ～四味一体～
- P05 サッカーファミリーとして示していく指針
- P06 活動理念
- P07 各委員会ミッションとアクション
 - ・技術委員会 ～組織基盤強化と組織運営～
 ～日本代表～
 ～ユース育成～
 ～指導者養成～
 - ・普及委員会 ～普及と強化
 - ・女子委員会 ～組織強化～
 - ・フットサル委員会 ～日本代表～
 ～組織強化～
 - ・総務委員会
- P20
 - ・日本連盟組織の強化～組織運営～
 - ・日本連盟組織の強化～役員と人材育成～
 - ・日本連盟組織の強化～財務～

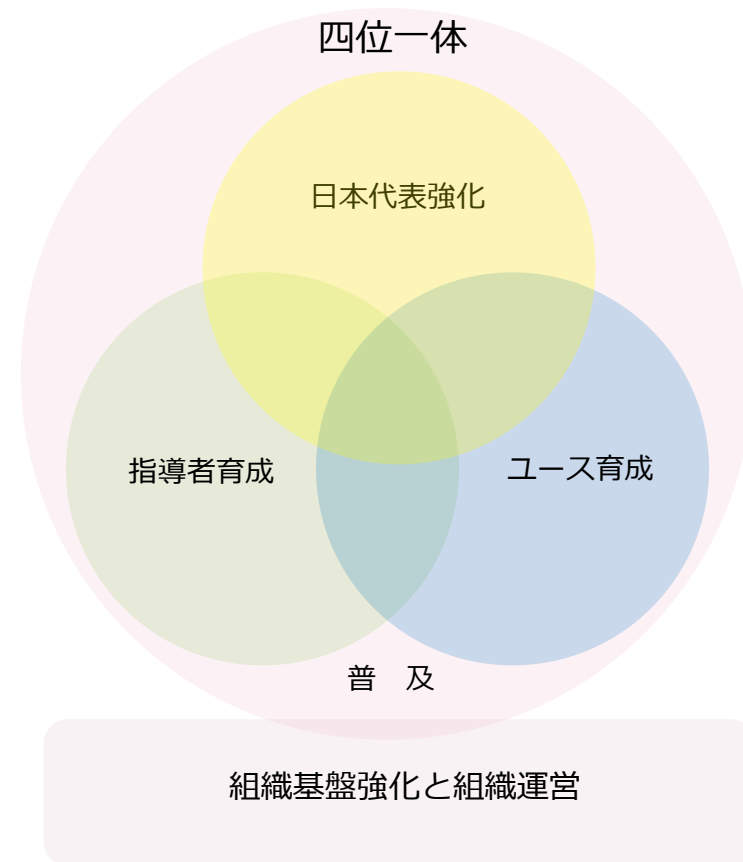
PDCAサイクル
組織図と関連図



-  日本代表 2030年世界選手権「もうひとつのW杯」での優勝し、2040年まで連覇をする。
-  ユース育成 U18日本代表の海外遠征、U18・U15年代の全国規模のトレセン活動を実施する。
-  指導者養成 知的C級 年間100名 知的B級 年間80名 2040年 ライセンス取得者3000名を目指す。
-  普及 エンジョイフットボール！キッズからシニアまで！！
-  フットサル日本代表
フットサル組織 2030年世界大会BEST4！
フットサル委員会5地域、5都道府県
-  女子日本代表
女子組織 女子日本代表が世界でベスト4以上になる（世界一を目指す）！
夢とモチベーションをもってプレーできる環境を全国に！（仲間を増やす）！
-  総務 インクルーシブな全国大会、地域との連携、協働
-  組織基盤 皆の夢を実現するための自立・安定・認知・支援を創造する。
-  環境 だれもがいつでもどこでもサッカーを楽しめる環境整備

知的障がいのある人たちが地域でみんなと一緒に個性を認め合い不平等なくサッカーを日常的に楽しめる「生涯スポーツ」の環境が整備された社会を実現します。

知的障がいのサッカー競技が盛んに行われ、全国的・国際的な大会が国内で定期的開催されるとともに国際競技力が向上し、日本代表が世界で活躍できる「競技スポーツ」の発展した社会を実現します。



2024年4月、JFAより発出された「アクセスフォーオール宣言」に基づき、より、サポートではなく「デリバリー」の考えのもと多様な機会や選択肢を「確実に届ける」ことを目指します。

さらに、当連盟の活動を通して同じ課題を地域と共有し、サッカーに関わる人々が、サッカーにアクセスできていない人たちにサッカーを届けることを目指します。

サッカーを通して 知的障がい児・者が 社会との関係を構築する

知的障がい児・者が社会との関係を構築する上で、感情や感覚が大きな要素を含むスポーツや音楽、芸術は非常に重要な手段となります。

多くの方との感情や感覚を通じたコミュニケーションは、知的障がい児・者にとって大きな力となるばかりか、知的障がいの無い者にとっても学ぶことが多くあります。

私たちは、ボール一つで出来るサッカーの魅力を通して、知的障がい児・者を含む多くの人々のコミュニケーションを促進させ、知的障がい児・者にとっての真の社会参加が出来る社会を目指します。

知的障がい児・者が サッカーをできる 環境や場の整備・提供

スポーツは誰でも「やりたい」という気持ちがあれば、誰もが楽しく行うことができます。そして、高い競技性をめざして行う環境が必要です。それは知的障がい児・者のサッカーにおいても同様です。我々は以下のような環境、場の作りを行うことを目指します。

- ・ **サッカーにアクセスできていない人たちにサッカーを届けていく**
- ・ 知的障がい児・者がサッカーをしたいという欲求に応える場作り
- ・ レベルに応じたサッカー環境の整備
- ・ 高い競技性を思考する競技者への質の高いサッカー環境の提供

知的障がい者サッカー 日本代表の強化・支援

知的障がい者サッカーの技術上の頂点である日本代表チームが国際大会などでより高い成功を収めるための強化や支援を行います。

日本代表チームが魅力ある存在となり、知名度や理解されることで、知的障がい者サッカー自体がより魅力的なものとなり、上記の活動の裾野が広がります。

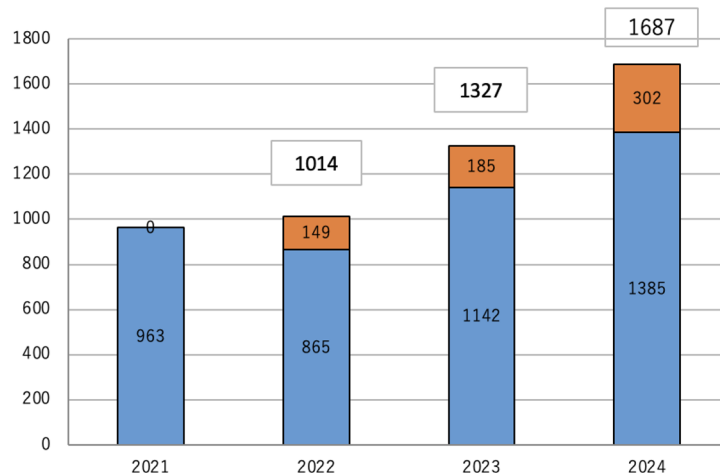
純粋な日本代表の強化はもとより、知的障がい者サッカー全体の発展のために広く支援を呼びかけ、支援体制が整うことを目指します。

各委員会 MISSIONとACTION

> MISSION 2025

強化指定選手の登録者数の把握、増加

2024 登録者数・強化登録者数



> ACTION 2025

各地域技術委員会内に強化部・育成部・指導部・コンディショニング部を設置する。

⇒強化部 選抜チームの強化

育成部 U18の強化

指導部 技術委員会の指導者講習会 知的C級開催 知的B級開催

コンディショニング部 選抜チーム・アンダーカテゴリーへのトレーナー派遣
フィジカルデーターの集積

⇒事務局の設置（代表部予算執行・指導部指導者養成事業予算執行）

⇒事務局との連携

> ACTION 2025

⇒ U18地域トレセン選手の登録（2023年より実施、
24年から強化登録費3,000円＋連盟登録費1,000円徴収）

⇒フットサル選手の増加 サッカーとフットサル両方の場合はどうするか 検討

> MISSION 2025

トレーニングパートナーの招聘

> MISSION 2026

代表選手と指導者の意識改革

> MISSION 2026

GK・ストライカーキャンプ

> MISSION 2026

アカデミー構想

> MISSION 2026

定期的な海外遠征によるゲーム経験を増やす

> MISSION 2030

> ACTION 2025

国内内合宿に1－3名呼ぶ
次世代の代表候補選手

> ACTION 2026 代表選手と指導者の意識改革

レクチャーのための資料づくり（代表のビデオ・コンセプト・好事例の紹介等作成）
⇒代表部から地域トレセンスタッフへの発信
⇒選手には各地域トレセン時に地域トレセンチーフからレクチャー
⇒代表合宿への技術委員参加

> ACTION 2026 GK・STキャンプ 2025年実施予定

> ACTION 2026 アカデミー構想

日本代表候補になる可能性のある選手のトレーニング生活環境の整備
（東京都・鹿児島県・福岡県）

> ACTION 2026 定期的な海外遠征によるゲーム経験を増やす

ユース年代も含めた日本代表候補選手を海外に派遣し、ゲーム経験、環境を経験させる。
25 アルゼンチン 26 ヨーロッパ

> ACTION 2030

世界大会優勝

> MISSION 2026

地域のU18トレセン活動

U15年代の6地域トレセンへの参加

> MISSION 2030

ユース年代の日本代表候補選手の海外遠征

> ACTION 2025

5地域のU18トレセン活動実施（中四国未実施）

U15年代の6地域トレセンへの参加

> ACTION 2030 ユース年代の日本代表候補選手の海外遠征

スポンサーの獲得

全国の知的障がい者サッカーの普及とユース年代の育成、指導者の養成



> MISSION 2025

知的障害者サッカー指導者ライセンス B級・C級講習会の地域開催

B・C級のチューター研修会の開催

各地域、都道府県指導者研修会の開催の継続

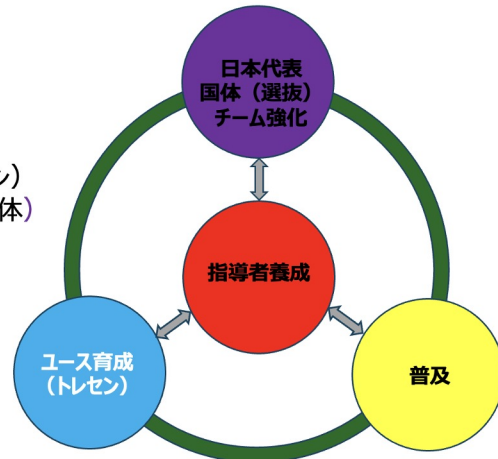
> MISSION 2040

地域トレセンの認定制度の導入

指導者の役割

四位一体 = 連動

優れた指導者が・・・
サッカーの楽しさを伝えられ（普及）
優れた選手を育成し（ユース育成 トレセン）
選手を活かし強いチームを作る（強化 国体）



> ACTION 2025 各地域、都道府県指導者研修会の開催の継続

知的障害者ライセンス B級 100名 C級 140名

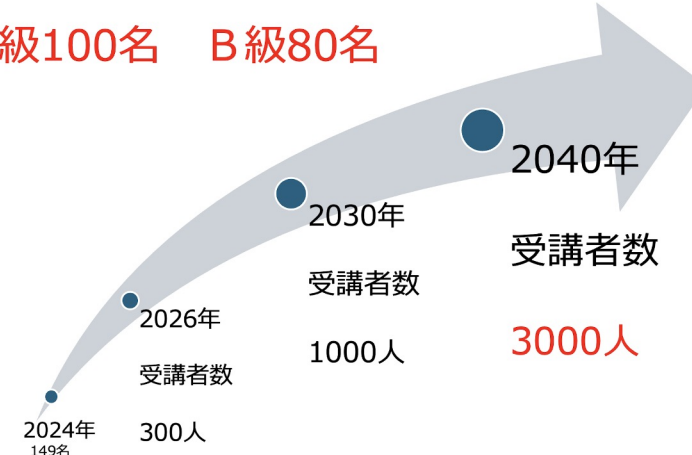
地域での指導者講習会開催にあたり、各地域の技術委員にチューターとして、講習会を担ってもらう。そのための集合研修会を開催する。

各研修会での2024技術委員会のビジョンの共有、世界大会の映像や代表合宿の映像、もう一つの選手権の映像などから現在の成果と課題をレクチャーしていくことを続ける。

> ACTION 2040 ライセンス保持者ロードマップの実行

2040年までのライセンス保持者ロードマップ

年間C級100名 B級80名



> MISSION 2025

未開発地域、新たな地域とのつながりを構築する

> MISSION 2025

サッカー教室協力者向けワークショップを開催

> MISSION 2030

キッズ、青年、シニア、それぞれの年代がサッカーを楽しむ活動を展開

> MISSION 2035

サッカーファミリー全体の繋がりづくり



> ACTION 2025

- ・全国障がい者スポーツ大会の次年度の開催地でサッカー教室を開催
- ・障害者スポーツ協会など地域組織との連携を深め、各年代ごとの活動環境を増やしていく。

> ACTION 2025

サッカー教室の際、当日協力いただく方向けに事業の目的や指針を示し、事業を通してより理解を深めていただけるよう、ワークショップ同時開催を企画し理念に共感してくれる仲間を増やす

> ACTION 2030

- ・9地域に普及委員会を設置。
→各地域毎に普及委員を中心として、それぞれの年代がサッカーを楽しめる活動を展開
- ・シニア層の活動の充実
→8人制サッカーやウォーキングフットボールなど、世代に応じたイベントを新設し生涯スポーツの環境整備を推進する

> ACTION 2035

- ・全国30都道府県に普及担当委員を配置
→前スポ前後のコンタクトや、知的ライセンス所持者に有志協力者を募り地域と繋げ普及委員増員と同時に、地域FIDの協力人員増員を目指す。
- ・全国障がい者スポーツ大会で開催地の競技に関する機運が高まっているところ、多くの方が関わっている間にサッカー教室での普及に関する連携を試み、普及委員担当者の配置を目指す。
- ・地域と都道府県、地域組織が連携して、各地域でキッズ・老若男女がサッカーを楽しむさらなる環境整備と質の向上を目指す。

女子委員会 ～普及と強化～



> MISSION 2026

女子日本代表の組織化

> MISSION 2026

各地域の活性化

> MISSION 2030

各地域での基盤を安定

> MISSION 2035

女子の大会を新設（8人制も検討）

> MISSION 2035

女子日本代表の強化

> ACTION 2025

選手・スタッフ体制、強化方針の策定、スポンサー確保、スペシャルオリンピックスUAE女子チームとの交流、Virtus国際大会誘致

> ACTION 2025

女子サッカー教室展開、女子トレセンを各地域に根付かせる取り組み。地域対抗戦構想、女子選手登録者を300人へ。

> ACTION 2030

8地域（北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中四国、九州）に女子委員会の設置

→女子選手の発掘と普及、女子サッカー教室、女子トレセンを各地域で開催

> ACTION 2035

地域女子トレセン対抗戦、女子チャンピオンシップ（8人制）の実施

→2034にプレ大会開催

> ACTION 2035

Virtus世界大会で、女子日本代表がベスト4以上になる（世界一を目指す）



> MISSION 2026

ライセンスを持つ指導者を増やす

> MISSION 2026

各委員会の連携（技術・普及・フットサル等）

> MISSION 2030

各地域FIDでの基盤を安定

> MISSION 2035

都道府県FIDでの基盤を安定

> ACTION 2026

JFA D・C・B・Aライセンス、JFFID C・B級ライセンス、JFA審判ライセンス、インクルーシブフットボールコーチ等のライセンス講習会、JPC女性スポーツ委員会研修等に女性指導者が参加していく。

> ACTION 2026

- ・ライセンスを取得した女性指導者を技術委員会へ派遣
- ・各委員会と連携し、サッカー教室の計画・開催・指導に当たり、女性審判員の養成も行っていく。C・B級教本に女子の指導を追加。

> ACTION 2030

- ・8地域（北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中四国、九州）に女子委員会を設置する。
 - 女子選手の発掘と普及、女子トレセンを各地域主催で開催
- ・財源の安定化
 - JFFID個人登録費、強化指定費、クラウドファンディング、助成金、WEリーグとのコラボ、スポンサー確保、地域毎の予算化など
- ・JFFIDに女性理事を選出

> ACTION 2035

- ・10～15FIDに女子委員会設置

> MISSION 2025

世界ランキング6位以内

2025 世界選手権 6位以内、2027 GLOBAL GAMES 5位以内に入賞し、世界ランキングを引き上げる。

* 世界大会のチャンピオンシップカテゴリーはランキング8位以内の国で争われる。ランキングポイント獲得には、国際大会、各大陸(例:アジア)大会、国際親善試合等での成績が反映される。

> MISSION 2030

世界ランキング4位以内

2031 GLOBAL GAMES ベスト4進出。
フットサル日本代表のプレーモデルが確立され、ミニサッカーではなく、フットサルをプレーする国として世界に認知される。



> ACTION 2025

選手の発掘、強化(競争)

- ・キャラバン、大会視察を通じて、フットサルに適性のある新規選手を発掘
- ・Fリーグチームを核として、新たにフットサルに取り組む地域を発掘する。(東海、北信越、北九州)
- ・地域トレセン対抗戦を実施し、代表合宿につながる活動を増やす。
- ・現在30名程の日本代表候補選手ラージグループを50名まで増やす。
- ・日常的にフットサルをプレーすることができる環境(東京モデル)を創設する。
→健康者チームへの所属7名、フットサル東京選抜等

> ACTION 2025

スタッフの質の向上

- ・JFFID日本代表規定に従ったJFA指導者ライセンスを取得+知的BC級取得
- ・代表スタッフが代表活動だけでなく、選手の日常のトレーニングに関わり、主体的に行動できるスタッフを全国で10名に増やす。

> ACTION 2030

フットサル選手の育成

- ・2025、2027の世界大会を分析した日本代表のプレーモデルを2年ごとに作成し、
世界大会で勝利するための方法を確認する。
- ・週2回以上フットサルをプレーする選手20名、
フットサルの指導者20名が、全国各地で活動している環境を作る。
- ・フットサルの地域対抗戦(例:東日本選抜vs西日本選抜)の実施

> ACTION 2030

普及としてのフットサルの活用

- ・普及委員会、女子委員会と連動し、サッカー&フットサルに出会う場(フットサル教室)を年4回実施する。
- ・Fリーグチームと連携し、7地域でフットサル事業を行う。(大会、練習会)

> MISSION 2025

5地域、10FAにフットサル委員(担当者)を設置

7地域中、5地域にフットサル委員が設置され、JFFIDフットサル委員会を実施する。フットサル委員には、知的関係者だけでなく、Fリーグ関係者やフットサル経験者など、出身を問わず主体的に活動できる人材を招き入れる。

→現状:関東、関西、九州の3地域にフットサル委員会設置

> MISSION 2030

7地域、15FAにフットサル委員(担当者)を設置

担当者(委員長)を明確にし、委員会内で、総務/技術/普及の役割を整備する。同じ役割同士の連携が取れるよう、縦のつながりでフットサル委員会を実施する。

> ACTION 2025

フットサル委員の明確化

- ・JFFIDの調査をもとに、各地域のフットサル委員を明確にし、名簿を作成する。
- ・地域でのフットサル委員を集めた、オンラインMTGを開催する。
- ・各フットサル委員は、地域のFリーグ、地域リーグ、都道府県リーグ等、身近で活動するチームや指導者の方に声をかけ、普及・強化両面で協力体制を築いていく。

> ACTION 2025

地域でのフットサル教室、フットサル大会の実施

- ・フットサルキャラバンを年3回実施し、フットサルに関わる指導者を増やす。
- ・地域のフットサル委員が、「フットサル教室」と「フットサル大会」を実施する。JFFIDフットサル委員会が運営をサポートし、自立した事業が各地で行われるよう導いていく。

> ACTION 2030

フットサル委員会の充実

- ・名簿の更新や、オンライン会議を継続し、7地域、15FAのフットサル委員会を整備する。
- ・委員会内で、総務/技術/普及の役割を分担する。JFFIDが主催するフットサルオンライン会議を年2回開催する。

> ACTION 2030

事務局員の充実

- ・フットサル事務局を3名体制とし、総務、技術、普及の3事業を分担する。
- ・サッカーの事務局と連携し、業務を精選する。

> MISSION 2025

主催大会の発展



> MISSION 2025

主催大会の周知

> MISSION 2025

7地域に総務委員会を設置

> ACTION 2025

もうひとつの高校選手権大会2025

- ・16チーム参加できる大会運営の見直しを図るとともに、都道府県予選、地域予選の実施方法などを検討。
- ・合同チーム等の条件緩和の検討。
- ・大会運営ボランティアを募集する。

チャンピオンシップ26

- ・地域リーグ活性化として、各地域で不参加となっている都道府県に地域リーグ参加を働きかける。

連盟組織化

- ・既存加盟団体への連盟組織化について働きかける。
- ・地域連盟立ち上げに必要な規約、連盟設立までの流れ等フォーマットを作成する。

> ACTION 2025

観客動員数の増加

- ・各地域リーグ、予選でのリーグ日程と概要について、JFFIDホームページやSNSでの発信。
- ・現状の観客動員数把握のため、各地域リーグ、地域予選での観客数、種別の調査を行う。

> ACTION 2025

総務委員の連携強化

- ・7地域に総務委員会を設置し、JFFID総務委員会と各地域総務委員会が目的を共有し、役割分担を行い、大会運営、登録業務のニーズについて、相互作用できる体制づくりをする。
- ・2025年度を目途に登録業務システム化移行に向けて準備を進める。

> MISSION 2030

主催大会の発展

> MISSION 2030

主催大会の周知

> MISSION 2030

JFFID加盟都道府県に総務委員会を設置

> ACTION 2030

もうひとつの高校選手権大会2030

- ・予選会参加校数（60校）を増やす。（2024年度52校）
- ・大会運営に近隣県からのボランティアを募集し、大会運営を図るとともに業務改善と運営方法の検討する。

チャンピオンシップ31

- ・北信越地域でのリーグ戦の開催。
- ・参加チーム、選手の負担を減らすために、新たな協賛スポンサーを1社獲得。

連盟組織化

- ・作成したフォーマットを活用し、加盟団体を32→36団体へ増加を目指す。
- ・既存加盟団体の組織化を働きかけ20→24連盟へ増加を目指す。

誰もが参加できる交流大会を地域で開催する。

- ・エンジョイ層を獲得する。

> ACTION 2030

観客動員数の増加

- ・地域リーグ、地域予選の様子などJFFID主催大会の動画をSNSで発信し、更なる観客の増員を図り、2025年から観客動員数1.5倍を目指す。
- ・招待シートを設け、開催地域の小、中、特別支援学校を招待する。

> ACTION 2030

総務委員会の連携

- ・各地域の総務委員と定期的なオンラインMTGを開催する。
- ・登録システム運用によりこれまで未登録であった選手の登録を促し登録者数2,000人を目指す。

> MISSION 2035

主催大会の発展

> MISSION 2035

主催大会の周知

> MISSION 2030

JFFID加盟都道府県に総務委員会を設置

> ACTION 2035

もうひとつの高校選手権大会2035

- ・予選会参加チーム数（60チーム）を増やす。（2024年度48チーム）
- ・大会運営に全国からのボランティアを募集し、大会運営を行う。

チャンピオンシップ36

- ・参加チーム、選手の負担を減らすために、新たな協賛スポンサーを3社獲得。

連盟組織化

- ・作成したフォーマットを活用し、加盟団体を36→40団体へ増加を目指す。
- ・既存加盟団体の組織化を働きかけ24→28連盟へ増加を目指す。

誰もが参加できる交流大会を地域で開催する。

- ・エンjoyイ層を獲得する。

> ACTION 2035

観客動員数の増加

- ・地域リーグ、地域予選の様子などJFFID主催大会の動画をSNSで発信し、更なる観客の増員を図り、2025年から観客動員数1.5倍を目指す。
- ・招待シートを設け、開催地域の小、中、特別支援学校を招待する。

> ACTION 2035

総務委員会の連携

- ・加盟都道府県すべてに総務委員会を設置し、JFFID総務委員会、地域総務員会、都道府県総務委員会とで連携を深め、相互作用する。
- ・登録者数2,500人を目指す。

日本連盟組織の強化

>MISSION 2025

未開発地域への働きかけ

>MISSION 2027

連盟組織の運営の安定的運営と組織の見直し

>MISSION 2030

地域連盟と都道府県連盟との連携強化と組織作り

>MISSION 2030

30府県での知的障害者サッカー連盟の設立
(サッカー協会、クラブチーム、準加盟、加盟なしを除く)

>MISSION 2035

各都道府県連盟の組織化と委員会の設置

>ACTION 2025

- ・県FAや県スポ協、学校等と共働し、未開発地域にサッカーを届けるプロジェクトを毎年1箇所ずつ行う（JFFID地域活性化プロジェクト）
- ・地域毎、各委員会毎にも、未開発地域にそれぞれのアクションを遂行する
- ・理事会と地域毎の定期的な会議を連動させ、情報の共有をする。

>ACTION 2027

- ・専属の職員の配置・各種委員会での役割分担の明確化と委員会内の業務の細分化
- ・スポンサー獲得のための広報部、マーケティング部の設立による安定的な財源の確保

>ACTION 2030

- ・各地域連盟に総務委員会、普及委員会、技術委員会、女子委員会などの委員会の設置
- ・各委員会ごとの全国規模の定例会の開催

>ACTION 2030

- ・連盟設立の手順をマニュアル化し、各都道府県への働きかけ
- ・全障スポ開催地にてチーム継続・強化のための指導者講習会や普及サッカー教室を実施し、知的障がい者サッカー連盟設立を働きかけ
(2023年現在、知的障がい者サッカー連盟としての登録は22地域)

>ACTION 2035

- ・各都道府県に総務委員会、普及委員会、技術委員会、女子委員会などの委員会の設置

> MISSION 2022

役員関連規程の運用開始

> MISSION 2025

役員候補育成
役員サイクルの検討

> MISSION 2030

役員関連規程のブラッシュアップ
ガバナンス達成も含む仲間作り

> MISSION 2035

さらなる仲間・体制作り



> ACTION 2022

- ・将来を見据えた役員規定
- ・役員候補者推薦委員会規程と役員候補者選任規程の制定
- ・理事の任期を2年5期までとし65歳定年とする。

> ACTION 2025

- ・理事の候補となり得る人材を各委員の責任に於いて次世代候補として育成し、適切な時期に配置する。（理事会オブザーバー制度）
- ・役割を引き継ぎながら後任をサポートできる体制作り
- ・女性理事の登用

> ACTION 2030

- ・女性理事2名登用
- ・外部理事1名追加登用

> ACTION 2035

- ・女性理事の割合を40%まで引き上げる。
- ・外部理事の割合を25%まで引き上げる。

日本連盟組織の強化 ～財務～



> MISSION 2025

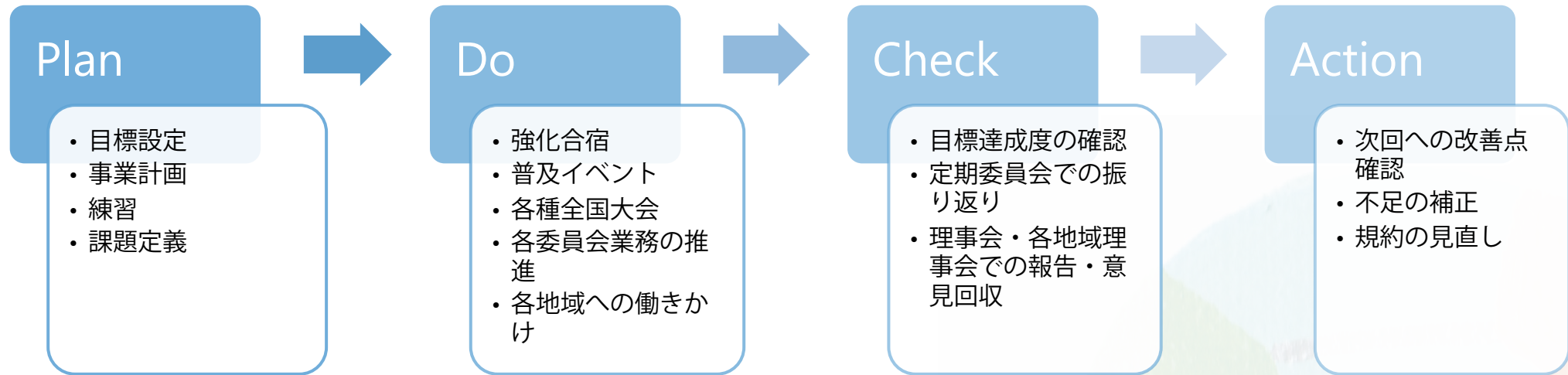
- ・ スポンサー獲得に向けて広報部、マーケティング部の設立
- ・ 継続的なスポンサー（パートナー）獲得

> MISSION 2030

- ・ スポンサー契約による安定的な収入による専属職員の配置

> 年度別予算案

2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
■収入	■収入	■収入	■収入	■収入	■収入
前年度繰越	前年度繰越	前年度繰越	前年度繰越	前年度繰越	前年度繰越
会費等	会費等	会費等	会費等	会費等	会費等
補助金	補助金	補助金	補助金	補助金	補助金
JFA分配金	JFA分配金	JFA分配金	JFA分配金	JFA分配金	JFA分配金
組織助成金	組織助成金	運営賛助会費	運営賛助会費	運営賛助会費	運営賛助会費
運営賛助会費	運営賛助会費	スポンサー	スポンサー	スポンサー	スポンサー
スポンサー	スポンサー	合 計	合 計	合 計	合 計
合 計	合 計				
■支出	■支出	■支出	■支出	■支出	■支出
加盟費	加盟費	加盟費	加盟費	加盟費	加盟費
サッカー合宿	サッカー合宿	サッカー合宿	サッカー合宿	サッカー合宿	サッカー合宿
サッカー遠征	サッカー遠征	サッカー遠征	サッカー遠征	サッカー遠征	サッカー遠征
Futsal合宿	Futsal合宿	Futsal合宿	Futsal合宿	Futsal合宿	Futsal合宿
Futsal遠征	Futsal遠征	Futsal遠征	Futsal遠征	Futsal遠征	Futsal遠征
女子委員会	女子委員会	女子委員会	女子委員会	女子委員会	女子委員会
普及委員会	普及委員会	普及委員会	普及委員会	普及委員会	普及委員会
大会研修開催	大会研修開催	大会研修開催	大会研修開催	大会研修開催	大会研修開催
事務経費	事務経費	事務経費	事務経費	事務経費	事務経費
組織基盤	組織基盤	組織基盤	組織基盤	組織基盤	組織基盤
予備費	予備費	予備費	予備費	予備費	予備費
合 計	合 計	合 計	合 計	合 計	合 計
■収支	■収支	■収支	■収支	■収支	■収支



MODEL PLAN	Plan	Do	Check	Action
日本代表(Football / Futsal)	2ヶ半月前	強化合宿	1週間後	1ヶ月以内
指導者研修	2ヶ月前	研 修	最終日	2週間以内
各種全国大会	6ヶ月前	大 会	2週間以内	2ヶ月以内
女子サッカー教室	3ヶ月前	教 室	1週間以内	3週間以内
キッズサッカー体験会	2ヶ月前	体験会	1週間以内	2ヶ月以内 ²⁴
理事会および各種委員会	1ヶ月前	理事会、委員会	1ヶ月以内	1ヶ月以内

```

graph TD
    Virtus[国際知的障害者スポーツ連盟 (Virtus)] --- JPSA["(公財) 日本パラスポーツ協会 (JPSA)  
日本パラリンピック委員会 (JPC)"]
    IPC[国際パラリンピック委員会 (IPC)] --- JPSA
    JPSA --- ANISA["(一社) 全日本知的障がい者スポーツ協会 (ANISA)"]
    JPSA --- JFFID["(特非) 日本知的障がい者サッカー連盟 (JFFID)"]
    JPSA --- JIFF["(一社) 日本障がい者サッカー連盟 (JIFF)"]
    JPSA --- JSC["(独法) スポーツ振興センター (JSC)"]
    JPSA --- JFA["(公財) 日本サッカー協会 (JFA)"]
    JFA --- JIFF
    JIFF --- JIFFID["(特非) 日本知的障がい者サッカー連盟 (JFFID)"]
    JIFFID --- JIFFID_Regional["北海道連盟, 東北連盟, 関東連盟, 北信越連盟, 東海連盟, 関西連盟, 中・四国連盟, 九州連盟"]
    JIFFID_Regional --- JIFFID_Regional_Regional["32 都道府県連盟"]
    JIFF --- JIFF_1["(特非) 日本ブラインドサッカー協会"]
    JIFF --- JIFF_2["(二社) 日本 CP サッカー協会"]
    JIFF --- JIFF_3["(二社) 日本ろう者サッカー協会"]
    JIFF --- JIFF_4["(特非) 日本アンブレティサッカー協会"]
    JIFF --- JIFF_5["(特非) 日本ソーシャルフットボール協会"]
    JIFF --- JIFF_6["(二社) 日本電動車椅子サッカー協会"]
  
```

```

graph TD
    JFA[日本サッカー協会] --- Board[理事会]
    JFA --- Supervisor[監事]
    Board --- Technical[技術委員会]
    Board --- Popularization[普及委員会]
    Board --- Football[フットサル委員会]
    Board --- Medical[医事委員会]
    Board --- Finance[総務委員会]
    Board --- Women[女子委員会]
    Board --- Asst[アシリート委員会]
    Board --- Compliance[コンプライアンス]

    Technical --- Representative[代表部]
    Technical --- Training[育成部]
    Technical --- Coaching[指導部]
    Technical --- CoachingStaff[コーチングスタッフ部]

    Popularization --- SoccerClassroom[サッカー教室]
    Popularization --- Grassroots[グラスルーツ]

    Football --- TechnicalDept[技術部]
    Football --- PopularizationDept[普及部]
    Football --- FinanceDept[総務部]

    Medical --- MedicalScience[医科学]
    Medical --- AnthroBiol[アンチドーピング]

    Finance --- SportsAdmin[大会運営部]
    Finance --- IntAffairs[渉外・国際]
    Finance --- Affairs[事務局]

    IntAffairs --- InternationalDept[国際部]
    IntAffairs --- IntDept[渉外部]
    IntAffairs --- PublicAffairs[広報部]

    Affairs --- AffairsBureau[事務局]
    Affairs --- Registration[登録部]

    Compliance --- Consultation[相談室]

    Board --- RegionalExec[九州担当理事]
    Board --- RegionalExec2[中四国担当理事]
    Board --- RegionalExec3[関西担当理事]
    Board --- RegionalExec4[東海担当理事]
    Board --- RegionalExec5[北信越担当理事]
    Board --- RegionalExec6[関東担当理事]
    Board --- RegionalExec7[東北担当理事]
    Board --- RegionalExec8[北海道担当理事]

    RegionalExec --- RegionalAssoc[各地域トレセン & 各都道府県連盟]
  
```

The organizational chart of the Japan Football Federation (JFA) is structured as follows:

- Top Level:** 理事会 (Board of Directors) and 監事 (Supervisor).
- Committees and Departments:**
 - 技術委員会 (Technical Committee):** 代表部 (Representative Dept), 育成部 (Youth Development Dept), 指導部 (Coaching Dept), コーチングスタッフ部 (Coaching Staff Dept).
 - 普及委員会 (Popularization Committee):** サッカー教室 (Soccer Classroom), グラスルーツ (Grassroots).
 - フットサル委員会 (Football Committee):** 技術部 (Technical Dept), 普及部 (Popularization Dept), 総務部 (General Affairs Dept).
 - 医事委員会 (Medical Committee):** 医科学 (Medical Science), アンチドーピング (Anti-Doping).
 - 総務委員会 (Finance Committee):** 大会運営部 (Tournament Operations Dept), 渉外・国際 (International Affairs), 事務局 (General Affairs Bureau).
 - 渉外・国際 (International Affairs):** 国際部 (International Dept), 渉外部 (International Dept), 広報部 (Public Relations Dept).
 - 事務局 (General Affairs Bureau):** 事務局 (General Affairs Bureau), 登録部 (Registration Dept).
 - 女子委員会 (Women's Committee):** 女子委員会 (Women's Committee).
 - アシリート委員会 (Assistant Committee):** アシリート委員会 (Assistant Committee).
 - コンプライアンス (Compliance):** 相談室 (Consultation Room).
- Regional and Prefectural Associations:**
 - 九州担当理事 (Kansai Regional Executive)
 - 中四国担当理事 (Chugoku-Kyushu Regional Executive)
 - 関西担当理事 (Kansai Regional Executive)
 - 東海担当理事 (Tohoku Regional Executive)
 - 北信越担当理事 (Hokuriku Regional Executive)
 - 関東担当理事 (Kanto Regional Executive)
 - 東北担当理事 (Tohoku Regional Executive)
 - 北海道担当理事 (Hokkaido Regional Executive)
- Bottom Level:** 各地域トレセン & 各都道府県連盟 (Regional Training Centers & Prefectural Associations).

※濃い青は担当理事設置（2024/4/1 現在）